

ワークショップ / 研究セミナー

## 「負の感情」とはなにか？

「怒り」「悲哀」「底つき感」の通文化比較とその手法としての映像

日時:

2010年8月15日 13:30～17:00

8月16日 10:00～14:30

場所: 京都大学稲盛財団記念館中会議室

京都市左京区吉田下阿達町46(川端通り)

アクセス <http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/access.html>

慶應義塾大学(東京)での開催ではありません。ご注意ください。

プログラム:

2010年8月15日(日)

セッション1: 「負の感情」の通文化比較(8/15PM)

13:30 開始

趣旨説明: 宮坂敬造(慶應義塾大学)、大石高典(京都大学) 13:30～14:00

1) 宮坂敬造(慶應義塾大学文学部教授) 14:00～14:30「底つき感と文化」

2) Karl Heider(University of South Carolina 特別名誉教授、慶應義塾大学社会学研究科招聘教授) 14:30～15:20(映像人類学作品一部映写あり)

「ニューギニアおよびインドネシア先住民社会における負の感情と映像人類学」

3) 大石高典(京都大学こころの未来研究センター特定研究員) 15:30～16:00

「感情の文化間比較への民族人類学・民族生物学的アプローチ: カメルーン東南部の焼畑農耕民社会と狩猟採集民社会の比較から」

コメンテータ: 石井美保(京都大学人文科学研究所准教授) 16:00～16:30

統合討論 16:30～17:00

2010年8月16日(月)

## セッション2: 日本文化における「負の感情」の過去・現在・未来(8/16AM)

10:00 開始

10:00 ~ 10:10

・挨拶 宮坂敬造 10:00 ~ 10:10

4) 鎌田東二(京都大学こころの未来研究センター教授)10:10 ~ 10:50

「日本の精神文化史において仏教受容が負の感情に与えた影響」

5) モハーチ、ゲルガイ(慶應義塾大学人文グローバル COE 研究員)11:00 ~ 11:30

「我慢」の比較: 糖尿病における負の感情

6) 大沼麻実(慶應義塾大学社会学研究科博士課程)11:30 ~ 12:00

アルコール依存症からの回復を支える認識論 「底つき」後に AA へと根づくまでの  
過渡期を支援する中間施設 MAC の役割から」

コメンテータ: 葛西賢太(宗教情報研究センター)13:00 ~ 13:30

総合討論 13:30 ~ 14:30

今回のワークショップ / 研究セミナーは以下の共催となります。

- ・ 慶應義塾大学人文グローバル COE 論理と感性の先端的教育研究拠点  
哲学文化人類学班文化人類学チーム「相互的感情身体知の文化医療人類学・  
人間科学研究会」
- ・ 京都大学こころの未来研究センター連携研究プロジェクト  
「負の感情研究 怨霊から嫉妬まで(『負の感情』領域)」および「マイクロ文化事  
象分析と映像実践を通じたこころの学際的研究」